

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

平成27年1月の「優しさ通信」

念じて家電操作 — NTTなど3社 腕少し動かすだけ



NTT、島津製作所、積水ハウスの3社は、車いすやベッドから念じるだけで家電などを操作できる新技術を開発したと発表しました。

手が少し動く人なら、訓練なしでも使えます。2020年ごろの実用化を目指します。

(2014年12月5日 日本経済新聞記事から抜粋)

障がい者法定雇用、大阪57% — 大企業達成率 東京上回る



大阪府内の1,000人以上の規模の企業で、障がい者の法定雇用率を達成したのは57.1%に達し、全国平均や東京都内の企業を上回ったことが大阪労働局の調べでわかりました。大阪府内企業が雇用する障がい者は、初めて4万人を超え、過去最多を11年連続で更新しています。全国平均が49.5%、東京都が45.5%、愛知県が54.3%。

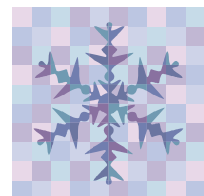
(2014年12月6日 日本経済新聞記事から抜粋)

介護報酬引き下げへ — 9年ぶり、最大3% 利用者負担軽く



政府は、介護サービスの公定価格である「介護報酬」を引き下げる調整に入りました。引き下げは2006年度依頼で、9年ぶりです。下げ幅は0~3%の間です。2015年度からの実施を目指します。

(2014年12月13日 日本経済新聞記事から抜粋)



テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

高齢者見守り「相談室」 — 大阪市、来年度に新設方針



大阪市は、独り暮らしの高齢者など、行政や地域の目が届きにくい市民の情報を把握し、支援につなげるために「見守り相談室」（仮称）を新設するなど、「見守りネットワーク強化事業」の費用約5億5600万円を2015年度予算案に盛り込む方針です。

（2014年12月19日 日本経済新聞記事から抜粋）

高齢者見守り実証実験 — 奈良でNTT西など TV電話活用



NTT西日本と都市再生機構（UR）などは、2月から奈良市でテレビ電話を活用した高齢者見守りサービスの実証実験を始めると発表しました。

（2014年12月20日 日本経済新聞記事から抜粋）



今月の福祉用具 — 歩行器・歩行車

- ♡ 歩く時のバランスが悪い場合の歩行支援を目的とした福祉用具。
- ♡ 歩行器：車輪がないもの、または一部に車輪がついているもの。
- ♡ 歩行車：脚部すべてに車輪がついているもの。
- ♡ 介護保険では歩行器で統一。
- ♡ 杖よりも安定性がある。杖を使う前の訓練や歩行補助として使用。
- ♡ 固定式歩行器：
 - 骨折、変形性関節症などの人が対象。
 - 下半身に運動機能障害がある人が対象。
 - 上半身の運動機能に障害のないことが使用条件。
 - まず歩行器全体を持ち上げて、前方に下ろす。足を交互に前に出して、両足を揃えて立ちます。
 - 腕の力と足の力が必要。
 - 家の中では杖代わりになったりして、導入しやすい。
 - ベッドや椅子からの立ち上がり、トイレや入浴にも使える場合もあります。
- ♡ 交互式歩行器：
 - 軽いマヒ、骨折などの人が対象。

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 3
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

フレームを持ち上げる必要がないので、腕の力があまりない人は便利。
片方にマヒがある人は使えません。

片方を前へ押し出すと、フレームが斜めに変形します。左側のフレームに力を入れたときは、右側のフレームを前に出して進みます。次はその逆で進みます。

♡ 二輪付き歩行器：

骨折や脳血管障害などで、わずかしか歩けない人が対象。

腕の力と下半身の運動機能がある人が使用できますが、手の力の弱い人でも使いやすくなっています。

固定式よりも疲れが少なくすみます。

前脚に車輪がついています。後脚にかかる重さを抜くと前へ進みます。

段差や凸凹な場所では使えません。その時は、固定式のように持ち上げる必要があります。

♡ ひじあて付き四輪歩行車：

わずかしか歩けない人、下半身に運動機能障害がある人が使います。

フレーム上のU型パッドに腕やひじを乗せて、体を支えながら押し出すように移動します。

重くて大型になるので、おもに施設内で使用されています。一般住宅には不向きなようです。

♡ 三輪歩行車：

片方に体重がかかりやすい重度の片マヒ者を除いて、わずかしか歩けない人でも使いやすくなっています。

小回りが利き、多少の段差や凹凸でも乗り越えることができます。

片方の手だけに体重をかけると転倒しやすくなります。

スピードが出やすい。すばやいブレーキ操作ができない場合は危険。

♡ 四輪歩行車：

一般的に、下の部分の面積が広いので、安定感があります。

車輪が大きく、前の輪が自在に動くので、凸凹道でも安定して歩くことができやすいです。

足元が広く開いているので、楽に歩くことができます。

ブレーキでスピードを調整しながら前へ進みます。

♡ 六輪歩行車：

両サイドに前輪、後輪と中央に大きめの車輪があります。

回転半径が小さいので、幅が狭い廊下でも安心して歩けます。

小回りが利いて、安定感があります。